

オカメザサの更新作業

運動広場の外周囲路沿いに植えられているササの一種がオカメザサです。他のササに比べると葉が淡い色合いで茎は直立しており、葉の長さも8cm前後なので見た目にも清楚な植栽です。

一方で、一つの節からは葉が5~6枚出るので、思いのほか密生した状態になります。さらに、生育が旺盛で刈込に強い性質なので、伸びた分だけを刈り込めば、植え込みとしてはまとまりのある植物です。



しかし、何年も刈り込んでいると密度が増して、勢いも出てきます。その結果、地下茎が伸びて生育範囲を拡げ、周辺に植えられているドウダンツツジやアベリアの生育を圧迫し始めました。

左の写真は、オカメザサの樹勢が強くなったために地下茎が後方に伸びて、他の低木を圧迫している様子です。

そこで、オカメザサの地下茎が伸びないように根止め板を設置し、オカメザサ自体の勢力を削ぐために根際まで刈り込むことにしました。

オカメザサはしっかり地下茎を伸ばしていたので、根止め板の設置は大変な作業となりました。仮掘りをして地下茎の深さを確認すると意外に浅く15cm程度だったので、25cm幅の根止め板を設置することにしました。しかし、地下茎は思った以上に強靱で、スコップでは歯が立ちません。ツルハシで地盤を緩めて、剪定ばさみで根を切りながら溝を掘り進めることになりました。土を掘るといふより、地下茎を取り除くことで溝ができるという状態で根止め板を設置できました。



現状は、オカメザサを根際まで刈り込み、それを囲い込むように根止め板が入れている状態を確認できます。

このままでは、刈り込んである面が園路と段差がなくなり、全体が園路のようになっているので、刈り込んだ面に誰でも入り込めます。踏み込まれてしまうと新しく吹き出す芽を潰してしまいます。

そこで、2段のトラロープ柵を設置しました。

今後の見込みとしては、5月末頃に新たな芽が出て、6月には淡い色合いの葉が広がり、さわやかなササの植栽に育つと考えています。もうしばらくお待ちください。